BOOk DeSiGN-CLAMP



KCM3322

KC MAGAZINE

ツバサ -RESERVoir CHRoNiCLE- 3

CLAMP

講談社

9784063633221

1929979003906

雑誌 42261-22

ISBN4-06-363322-5

C9979 ¥390E (0)

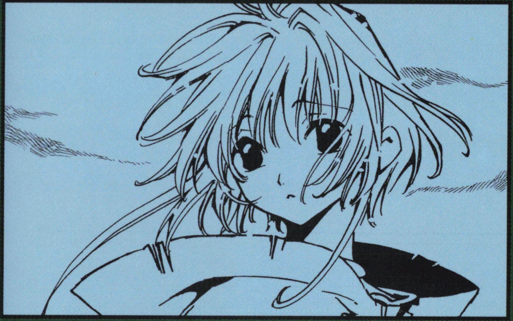
講談社

定価：本体390円（税別）

次なる世界は“秘術の国”!!

阪神共和国での巧断を駆使したバトルの末，ついにさくらの羽根を取り戻した小狼。しかし笙悟や正義との別れを惜しむ間もなく小狼達は再び旅立つ！そして辿り着いたのは高麗国。領主が圧政を施く“秘術の国”だった！

無敵の強さで支配を続ける領主を倒し，さくらの羽根を取り戻すため――小狼達は「蓮姫の城」へと潜入する!!





「やると決めたことはやる。それだけだ」

2003

KC MAGAZINE

SHONEN MAGAZINE COMICS

ツバサ

RESERVoir CHRoNiCLE

3

おれはキミを、忘れない。



CLAMP



RESERVoir CHRoNiCLE

ツバサ

RESERVoir CHRoNiCLE


Chapitre.14 旅立ちの時



ジュウウウ
ジュウウウウ
正義君
ほんとうに有り難うございました
うふふ
僕も……巧断も
ずっと弱いままだったから
あぐあぐ
てめっそりゃ俺んだ!
だから……
だから……!
ちゃんと渡せてほんとに良かったです!!


弱くなんかないです
戦うことだけが強さじゃない
誰かのために一生懸命になれることも
立派な強さです
有り難うございます!


よう
はっ
笙悟さん！
ん？
えっ?!
あーん
うちのチームの情報網も捨てたもんじゃねぇな
あ、ここちょっと詰めてくれな
んん?!!
すんませーん オーダー
オレ・とんぺい焼き
わらわらわら
お！コゲるぞ喰わないと
あ 俺も豚モダン んで虎コーラ
はーい
はい
……
じー
むぐむぐ
豚モダン一枚よろしく王様!!
王様？
じーっ
王様！
へー
王様？
だからヤメロって


ケガとか大丈夫か？
はい
戦いの途中ですみませんでした
ぺこり
ぎゃー
いや
あの状態じゃ仕方ねぇだろ
それに あのバトルは完全に俺の負けだ
ブーブーブーブー
俺34戦負けただろー
俺勝った…
うるせー


いつまで阪神共和国にいるんだ？
風月
もう次の世界……いえ国に行かなければならないんです
そっか
また俺のた手え出しただろ
黒鋼ひどい――!
モコナ熱くて なっちゃったでしょーっ
モコナ、ちっぽ鉄板でコゲちゃうとこだったねえ
バトルだけじゃなくあちこち案内してやったりしたかったんだけどな
プリメーラも残念がるな
すっ
ギュ


また この国に来たら会いに来ます
必ず
FoWooooo!
元気で――!!


で
ものは相談なんだけどな
入らねぇか
うちのチーム
!?
……は


はい!!
わしゃわしゃ
わっ
じっ
鶴橋


もう行くんか
はい
まだまだ わいとハニーの愛のコラボ料理を堪能させてへんのに――
ありがとうございました
これも買った
大丈夫――？
まだ ちょっと眠いだけだから


下を向くな
やらなきゃならねぇことがあるんなら
前だけ見てろ
……はい


ほんとうに有り難うございました
パァァ
なんの！気にすることたぁない
次の世界でもサクラさんの羽根が見つかりますように



シュー
ルー
侑子さんが見込んだヤツらや
これから何があっても切り抜けていくやろ
……ええ
鶴橋 風月
のみだおれ
かに道


ありがとう


なんだ？
人がたくさんいる!?


ガラッ
キョロ


ああー？
次はどこだ？
わー
なんだか見られてるみたいー
しゅるん
てへ♡ モコナ注目のまとー！
また妙な所に落としやがって！
ザザッ
なんだ こいつら！
どこから出て来やがった!!




お
あ
わ♡


おまえ！　誰を足蹴にしたと思ってるんだ!?
やめろ!!


Chapitre.15 秘術の国


誰かれ構わずちょっかい出すな!
このバカ息子!!
女の子?
ぷいー
春香!!


誰がバカ息子だ!!
ムギーッ
キョロ キョロ
おまえ以外にバカがいるか?
この――!
ぶるぶるぶるぶる
失礼な!!
高麗国の蓮姫を治める領主様のご子息だぞ!
領主といっても
一年前まではただの流れの秘術師だったろう
親父をばかにするか――!
領主に逆らったらどうなるか分かってるんだろうな!
春香!!
グッ


この無礼のむくいを受けるぞ！
ゾロ
ゾロ
覚悟しろよ！
怪我は？
大丈夫です
ありがとう
やー
なんか到着早々派手だったねー
ゾロ
ゾロ
小狼すごいーー！
跳び蹴り！
んだ・ありゃ



あ
すみません
売り物なのに
ぺこり
モコナもお手伝いする——！
ほらー黒ぴんも拾って——
あ——？めんどくせーなー
白いおまんじゅうがしゃべったー！
きゃーっ


ザワ
あいつら
また市場で好き勝手して!
ザワ
ぱた ぱた
この町にも早く暗行御吏が来てくれればいいんだが・・・・
ぴょーん
きゃーっ
ぐてっ
はっ
ざわ
ヘンな格好


ねむねむ
あはははは—
ヘンだって——
黒りんの
格好——!!
黒鋼へんー
俺がヘンなら
おまえらも
ヘンだろ!
おまえ達
ひょっと
して!!
来い!
??
あ!
待って下さい!
なんか
忙しいねぇ
おじさん
ごめんねー
きゃー
モコナ落ちちゃう!
ダダダ
めんどくせ——!


じっ
ちょこん
あ あの ここは‥‥
私の家だ
どうして急に‥‥
おまえ達言うことはないか？



え？
え？
いや、あの
おれ達はこの国には来たばかりで君とも会ったばかりだし・・・・
どん
ないか!?
ほんとにないのか!?
ずずいっ
がんばれ！小狼!!
ないんだ・・・・
け・・・・ど
良く考えたらこんな子供が暗行御史なわけないな
はーっ
あめんおさ？


暗行御吏は この国の政府が 放った隠密だ
それぞれの地域を治めている領主達が 私利私欲に溺れていないか
圧政を強いていないか
監視する役目を負って 諸国を旅している


みと?
水戸黄門だーーー!!
ひゃっほーい!!
侑子は初代の黄門様が一番好きなんだって!
カッカッカッ
さっきから思ってたんだけど なんだ それは!?
なんで、まんじゅうがしゃべってるんだ?
どきどき
モコナはモコナー!!
ぴょーん
わっ
まぁ マスコットだと思って——
もしくは、アイドル?
オレ達をその暗行御吏だと思ったのかな
えっと・・・・
春香
モコナアイドル
くるくる


春香ちゃんね
オレはファイ
で
こっちが小狼君
こっちがサクラちゃん
でそっちが黒ぷー
黒ぷー♥
黒鋼だっ!!
つまり
その暗行御吏が来て欲しいくらいここの領主は良くないヤツなのかな?
最低だ!
それにあいつ母さんを……


風の音?
外に出ちゃだめだ!!




きゃー
飛ばされる


自然の風じゃないね
今の


領主(リャンバン)だ!
あいつが
やったんだ!!




やったか！親父（アボジ）!!
ああ


蓮姫の領主の秘術を思い知ったか!
しかし こいつらは 何者だろう 親父
まさか 本当に 暗行御吏か!?


たとえ暗行御吏(アメンオサ)だとしても
これがある限り(かぎり)わしは無敵(むてき)だ


Chapitre.16 虚ろの記憶


RESERVoir CHRoNiCLE


何でっ
俺がっ
人ん家
直さなきゃ
ならねぇんだ
よっ！
一泊させてもらったんだから当然でしょー
しかし
あの子供一人で住んでるとはな
この家
んー
お母さん亡くなったって言ってたね 春香ちゃん
するする
で
いつまでここにいるつもりなんだ？
それはモコナ次第でしょ——


あーくそー!
なんであの白まんじゅうはあの小狼の肩ばっか持つんだ!
とんがんがんがん
とんがんとんがん
あはははは
春香ちゃんの案内で小狼君とサクラちゃんとモコナで偵察に行ったし何か分かるといいねぇ
しかし大丈夫なのかあの姫出歩かせて
しょっちゅう船漕いでるか寝てるかだぞ
足りないんだよ羽根が
元のサクラちゃんに戻るためには
取り戻した羽根は二枚だけ
戻った記憶はあるみたいだけど


まだ 意志とか自我とかそんなものがないんだ今のサクラちゃんには
だから 異世界を旅するオレ達に何も逆らわずついて来ただろ?
まあ
羽根が戻っても
小狼君との思い出は戻って来ないけどね
……………


それでも探すでしょう
小狼君は
色んな世界に飛び散った
サクラちゃんの記憶の羽根を
これから先
どんな辛いことがあっても


とにかく修理しながらみんなを待とうねーー
おみやげあるかなぁ
びきぃ
って
ばばーーん
ナニ茶飲んでくつろいでんだよ！
んー？
おまえもヤレよ!!
やー
黒ぴっぴの働く姿を見守ろうかなーって


羽根の波動感じるか？
うーん
うーん
がっくし
分かんない
高麗国
このあたり全部なんだか不思議な力でいっぱいなの
不思議な力？



よう！春香！
見たことないお嬢さん連れてるな！
客人なんだ 遠くから来たんだって
おう 旅の人か！なら一緒にどうだ？
これなんですか？
賭博だよ
知らないのか？
同じようなものは見たことあるんですけど
サイコロだな、これは
なに 簡単だよ
これを二個振って
足した数が相手より多いほうが勝ちだ
ささ 運だめしだ！
コロコロ
？
ったく 好きなんだから
おじさん達は
これ何だ？
わっ！しゃべった！
で 今一番多い数出したのは誰だ？


わしだよ
11だな
コロン
そんなの！どっちも一番多い数の6を出して合計12じゃなきゃ勝てないじゃないか！
素人相手に何て勝負を！


やったー！サクラの勝ちーー!!
は…ははは…
ま…まあそういう運もあるからなぁ
つ次だ！
ささお嬢ちゃん振って！
コロン
コロン
コロン
コロン
もう勘弁してくれーー！
うわあああ


サクラ大勝ちー♥
おみやげいっぱーーーい♥
ようふくももらったー♥
いいのかな色々もらって…
モモまんおいしー
もぐもぐ
すごい何度振っても6と6しか出ないなんて
モコナもこれもらったー
「神の愛娘」なんだなサクラは
神の愛娘?
特別に運のいい人間のことをそういうんだって
母さんが教えてくれた
神様が特別に愛してるから幸運なんだって
今までもずっとそうだったのか?
分からないの


なぜだ？
わたしが覚えてるのは……
自分の名前と
後
砂漠の中にある
街並みのことだけなの
まわりは砂ばかりで……
でも その中の
わずかな緑と水を
愛しんで生きている
そんな所
それ以外は
何も思い出せないの


……ごめん
いやなこと聞いたな
今なくなった記憶を集めるために旅をしてるんだって
わたしは忘れてしまってるんだけど
そう 教えてもらったの
あーん
えっと……
小狼君に
むぐむぐ
あのね
これから小狼君のこと「小狼」って呼んでいい？


兄様がね
特別 親しい人は名前で呼び合うんだって言ってたの
だから
わたしのことも「さくら」って呼んで
ね
小狼
はい
サクラ姫


この店はまだ領主様に納めるべき税金を払っていないだろう!
やめて下さい!!
祖父は病気なんです!薬代がいるんです!
だから もう少し待って下さい!!
いいや!待てないぞ!!
今すぐ滞っている税金耳を揃えて払ってもらおう!!
無理です!
前の領主様の時の二十倍の税なんてとても払えません!!


だったら そのじいさんを
もっとムチ打ってやる!
100回だ!!
やめて!!
やめろ――――!




き・・・・貴様!!
昨日の!!
そこをどけ!!
どきません
蓮姫の領主の恐ろしさを思い知らせてやる!!
おまえはただの「その息子」だろ! それもバカの!



うるさい――!
その扇(おうぎ)!!
行(い)け――!!


扇から出て来たの？
あの扇は私の母さんのなんだ！
私の母さんは秘術師だったんだ!!



頼まれて薬を作ったり
呪いをしたり
不思議な力を
持ってた
でも 決して
その力を
悪いことになんか
使わなかった！
それが秘術師の
誇りだって言ってた！
なのに
あの親子は!!
一年前
流れの秘術師として
この蓮姫にやってきて
それまで大した秘術も
使えなかったのに
突然 強くなって
その時いた
領主様を追い出して
自分が領主になったんだ！



それを阻止しようとして母さんは戦って・・・・
今の領主に殺されたんだ!!


なに!?


Chapitre.17 魔術の元


危ない!!


うおおおおお！


やった!!
いい気になりおってー!!


この音・・・・
風が来る!!


ドサッ
小狼君!!
ポタ…
思い知ったか!
これが領主の秘術だ!!
ゴゥ
ヒュゥゥ


息子のケンカに親が出てくるのか！
本当に最低親子だな！おまえ達は！
うるさい!!
悔しかったら親父を倒してみたらどうだ春香！
まあ おまえでは触れることも出来ないだろうがな！



吠えてろ！
暗行御吏が来れば
お前達の悪事はすべて
裁かれることになるん
だからな!!
来るもんか！
ケッ
滞納した罪で
税をさらに
倍にする！
そんな!!
払えなければ
店は没収！
じいさんとおまえは
ムチ打ち300回だ！


ハーーーッハハハハハ！
ドカ
ドカ
カッ
ギリ
……っ！
くそーー!!!


おかえりー
どうだった？
黒たんと、ずっと言葉が通じてたってことはあんまり遠くに行かなかったのかな
うーん
何か——
……あったみたいだね
そっかー
また領主とかの「風」にヤラレたんだー
しかし
そこまでやられて
なんで今の領主を
やっちまわねぇんだ


やっつけようとした！
何度も
何度も！
でも領主には指一本 触れられないんだ！
領主が住んでいる城には秘術が施してあって誰も近寄れない！
なるほどー
それがモコナの感じた不思議な力かー
コク コク
不思議な力がいっぱいで羽根の波動良くわからないの
あの息子のほうはどうなの？
人質にとっちゃうとかさー
へろっ
ファイ イカスー♥
えっ
ん？
…おまえ 今さらっと黒いこと言ったな


だめだ！
秘術で領主は蓮姫の町中を見張ってる！
息子に何かしたら・・・！
昨日とか 今日の小狼君みたいに
うーん
秘術で攻撃されちゃうか――
一年前 急に強くなったって言ってたね その領主
サクラちゃんの羽根に関係ないかなぁ


辻褄が合わねぇだろうが
記憶の羽根とやらが飛び散ったのはつい最近の話だろ
ずっ
次元が違うんだから時間の流れも違うのかも
確かめて来ます
その領主の元に羽根があるのか
ぎゅっ
待って！
小狼君怪我してるのに……
平気です
でも……


大丈夫です
羽根がもしあったら取り戻して来ます
小狼君・・・・


ちょっと待って――
ん
安心して
止めるワケじゃないから――
でもね
あの領主の秘術 結構すごいものみたいだからねぇ
ただ行っただけじゃ無理でしょう
せめて城の入り口にかかってる術だけでも破らないと
おまえなんとか出来るのかよ
無理
こういかにも策あり気な顔で言うなー!!
あの次元の魔女に?
侑子に聞いてみよう!


パアアアア
あら
モコナ
どうしたの？
しゃべったーー！
ぎゃーっ


ほんとにモコナは便利だね――
便利にも程があるだろ!
これ異世界に通じてるんだー
あぁっ?!
なるほど
その秘術とやらを破って城に入りたいと
そうなんです――
・・・でもあたしに頼まなくてもファイは魔法使えるでしょう?
あなたに魔力の元渡しちゃいましたし――
あたしが対価として貰ったイレズミは
「魔力を抑えるための魔法の元」


あなたの魔力そのものではないわ
まあ でも
あれがないと魔法は使わないって決めてるんで
いいわ
城の秘術が破れるモノを送りましょう
ただし対価をもらうわよ


おれに何か渡せるものがあれば・・・・
これでどうですか――？
魔法具ですけど使わないいし
・・・・いいでしょう
モコナに渡して
いくよー
あ～ん
ずるずるずる
うわー
うわ～
ごっくんっ
めきょっ
いいんですか
うん いいんだー

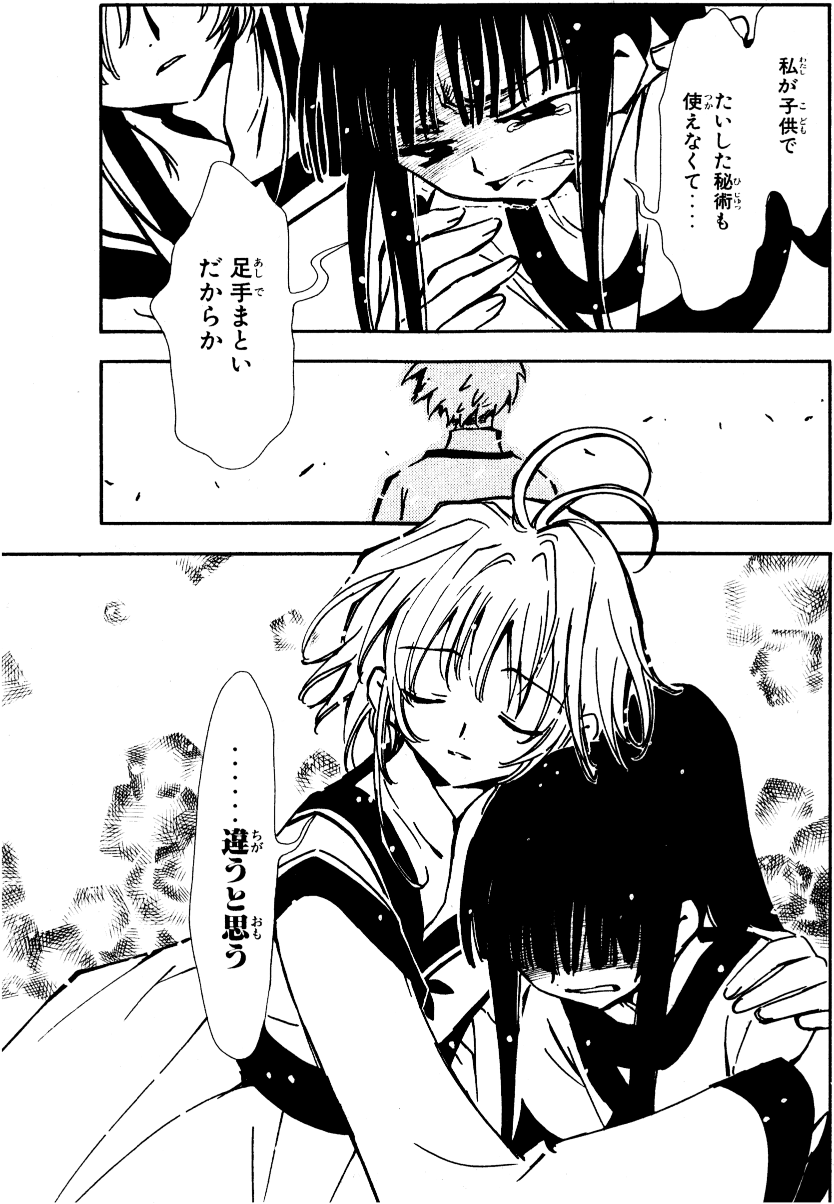

ぽおんっ
これが
秘術を破るもの……


Chapitre.18 絡繰りの城


いやだ!!
私も領主の所へ行く!
領主の城には秘術が施してあるしね
危険だよ——
承知の上だ! 一緒に行く!!
ん——
困ったなぁ
ふいっ
ちら
ちらっ
俺ぁ ガキの説得はできねぇからな
照れ屋さんだから——?
テレ屋さん~♥


行って
領主を倒す！
母さんのカタキを
とるんだ!!
絶対一緒に
行くからな！
いいだろ!?
小狼!!


だめです
ここで　サクラ姫と待っていて下さい
……小狼君……



私が子供で
たいした秘術も使えなくて・・・・
足手まといだからか
・・・・・・違うと思う


言えば良かったのに――
春香ちゃんを連れていかないのは
これ以上迷惑かけないためだって
オレ達みたいな余所者泊めて一緒にいる所も見られてる
その上 連れだって城に乗り込んだら
領主を倒せなかった時に春香ちゃんがどんな目に遭うかわからないもんね
………
とにかく
その領主とやらを
やっちまやぁいいんだろ
で
サクラちゃんの羽根が本当に領主の手元にあれば…

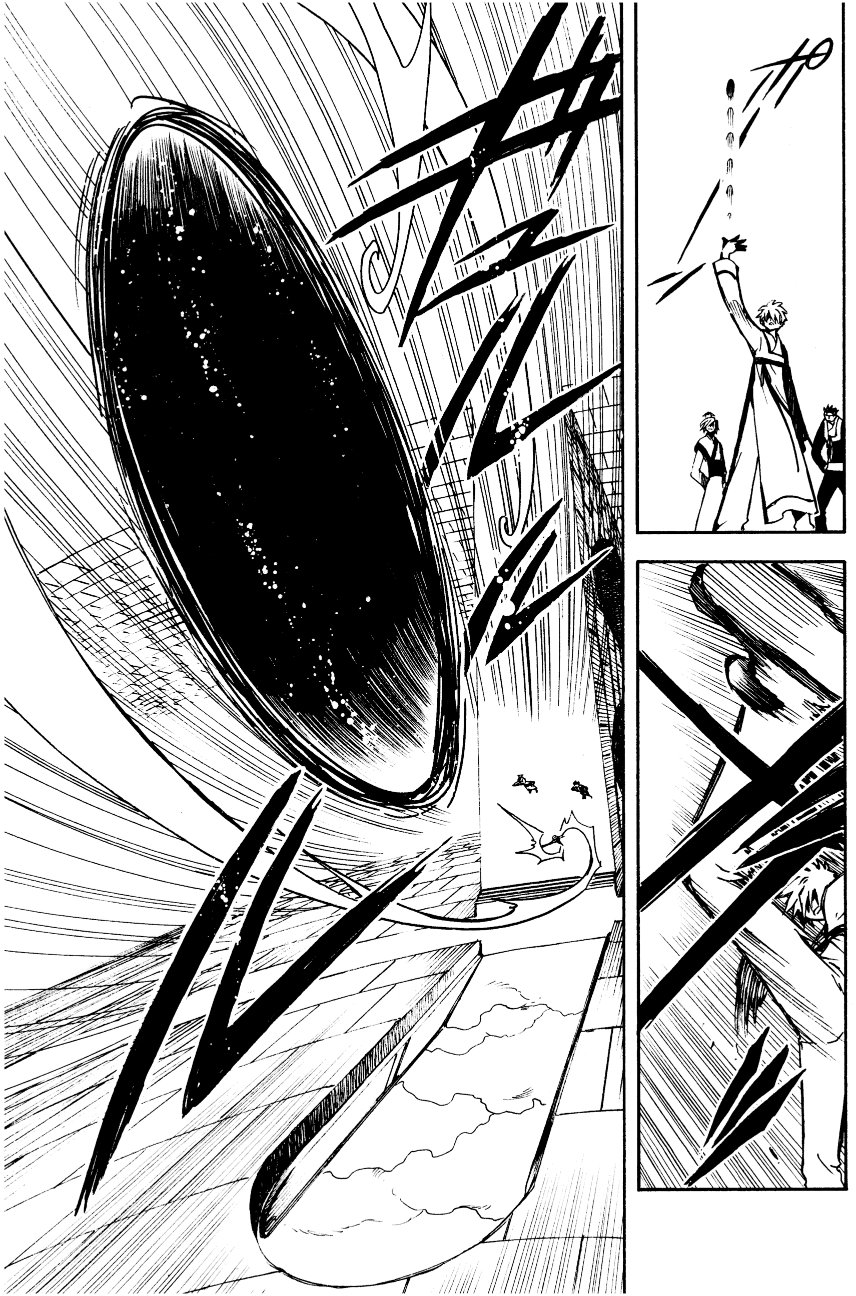


取り戻します
来たか
来るなら来てみろ! 愚か者どもめ!
何か隠し持っておるなあの小僧・・・・
強い力を感じる
だ・・・・
大丈夫だよな! 親父! 親父の秘術は無敵だよな!

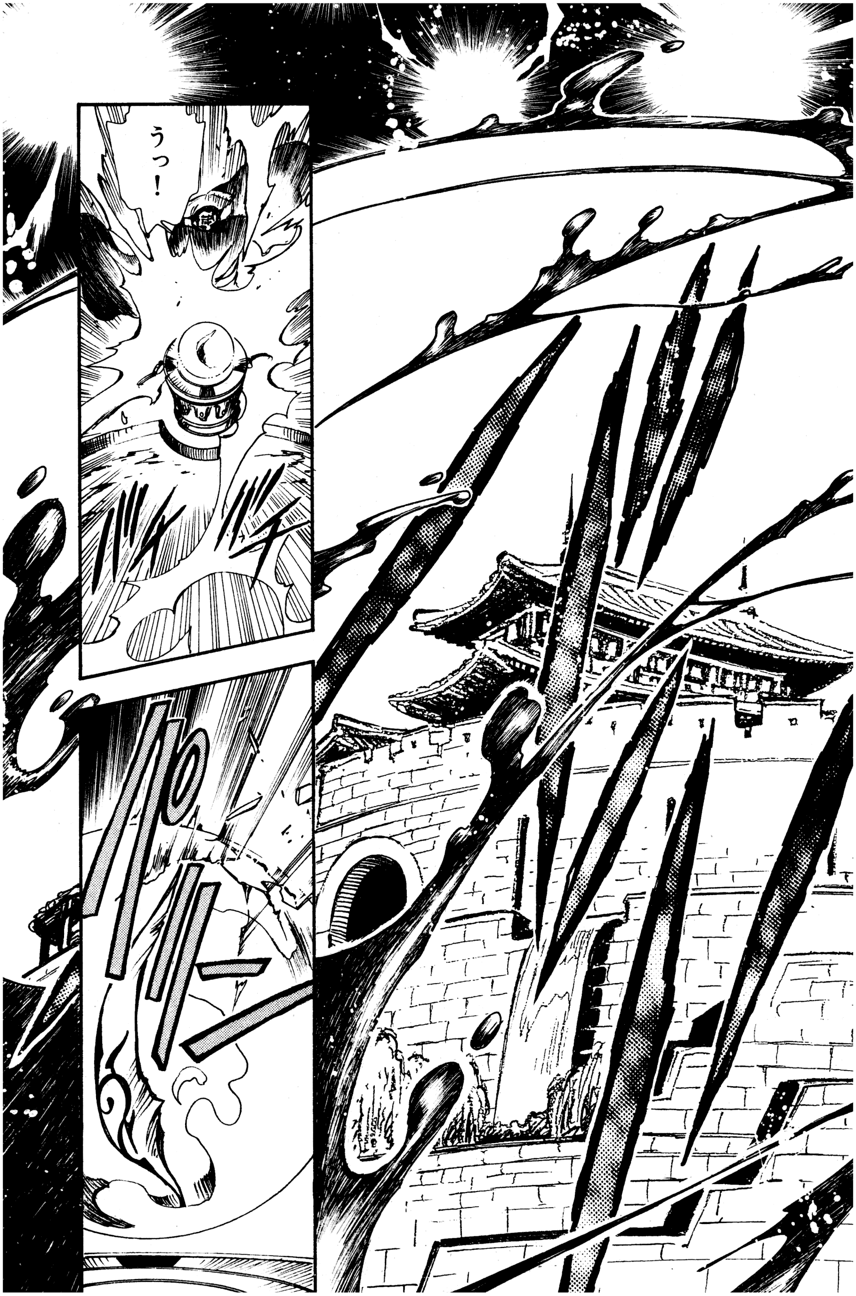

無論だ
ここだよね
さっさと入ろうぜ
って そのまま門開けてもだめ・・・・


ああ!?
ふしぎふしぎー!
お空が下にあるーよ
だから この城は秘術で守られてるんだって
黒みん、せっかちさんだねー
うるせー!
この門だけじゃないよ他の入り口も全部こんな感じでしょーー
そこで


次元の魔女さんにもらったモノの出番だよ―――
シャラララララ～
なんかドロだんごみたいだな
どうやって使うんだよ それ
投げて―――!
え?
出来るだけ遠くへ投げて!
どーーん
あのお城に届くくらい!!
ああ!?
モコナ これを遠くへなら……
……
うん それでも大丈夫!
えへー
なんの相談?


パ
ザ


バァ


うっ！
バチ バチ
パリーー



親父！城を守る秘術が破られた!!
騒ぐな！わしの秘術はこれからだ！
中に入ったはいいが
いつまで続いてんだよ この回廊はよ
ずっと歩きっぱなしだぞ
真面目に歩いてるんだけど どこにも着かないねぇ 扉もないし
黒鋼 だらしなーい
おめぇはずっと頭の上で歩いてねぇだろ!!


元の場所に戻ってます
ん？
確かに似たような場所だが引き返しちゃいねぇぞ
ずっと一本道ではあったよね
この回廊の入り口近くに落としておいたんです
「ひゅーー」
小狼君すごいーー
それ、春香ん家でファイと黒鋼が遊んでたやつだ♪
今、口で「ひゅー」言っただろ 吹いてなかっただろ
前から思ってたけど
だって口笛吹けないんだもん
えへへー
ひゅー♪



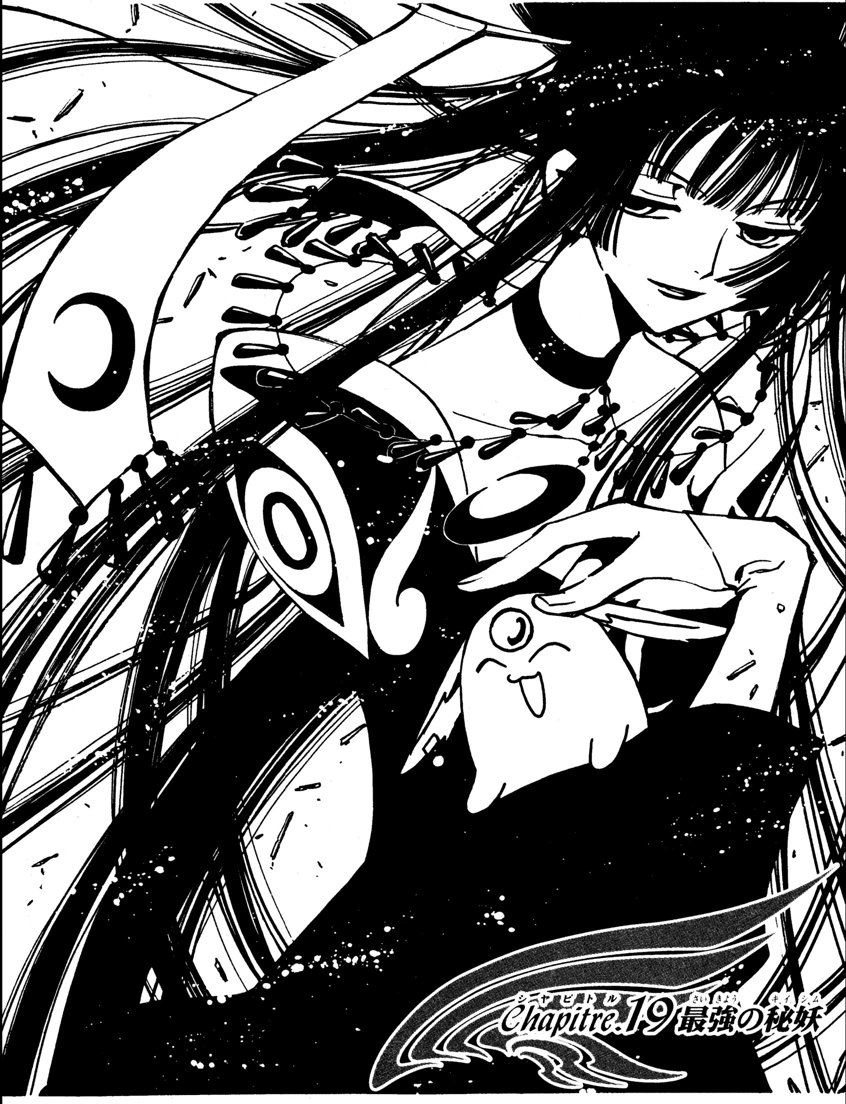
ったく あれだけ歩いて ムダ足かよ
しんどくなっちゃうね
だからお前は ぜんぜん歩いて ねぇだろ!
んー これ以上 歩くのヤだねぇ
……ここかなぁ
何か ありましたか?
この手の魔法はね
一番魔力が 強い場所に 術の元がある もんなの──
ん?
この向こうに 領主がいるのか?


わかんないけど
すごく強い力を
この向こうから
感じる？ かも——
たしたしっ
さあっ 黒鋼っち ストレス発散に ぶっ壊して！
……魔力は使わねぇんじゃなかったのかよ
今のは魔力じゃなくて
カンみたいなもんだから




あたりーー！
ぴょん
ガラ
ガラガラ
ガラ
誰かいます


シャラ
よう来たな
虫けらどもめ


Chapitre.19 最強の秘妖

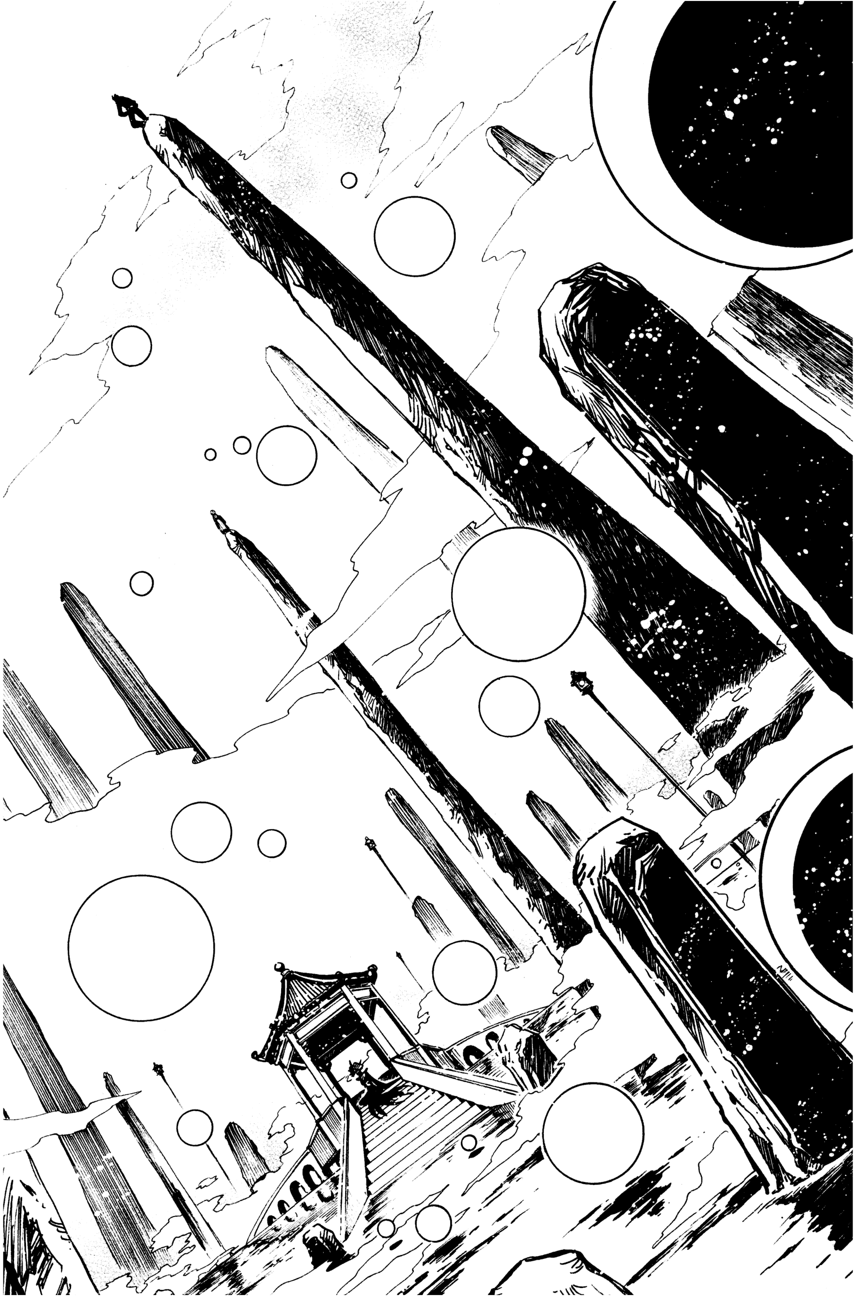

親父！やつら回廊の秘術に気づいたぞ！
それでこそこちらの思惑通りだ
あれはこの高麗でも最強の秘妖
名高い秘術師であった春香の母親でも御せなかったもの
この羽根の力でやっとこの城に閉じこめることが出来たのだ
やつらが何者でも敵ではないわ！

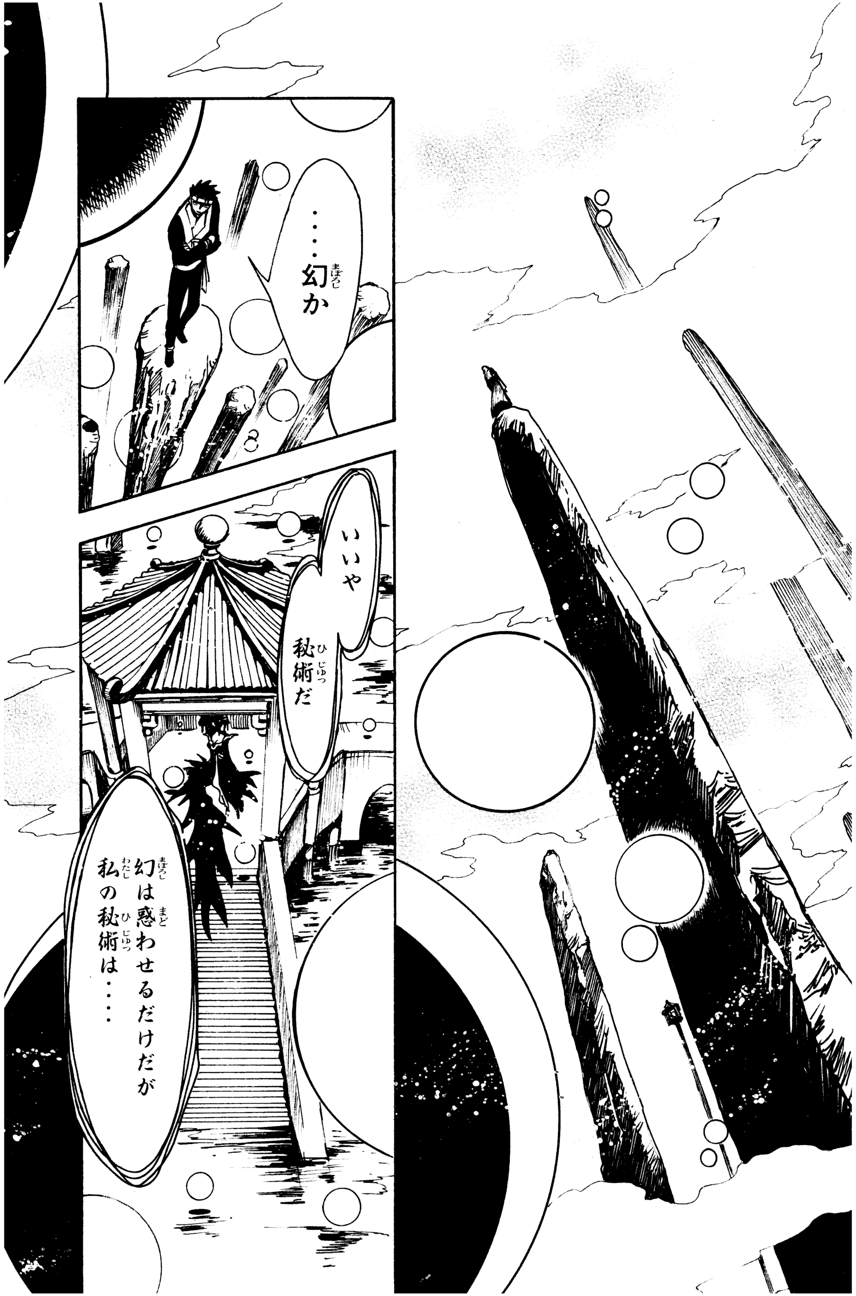


誰だ？てめぇ
たかだか百年程しか生きられぬ虫けら同然の人間達が口の利き方に気をつけよ
と言いたいところだが
久しぶりの容だ大目に見てやろう
何言ってんだ？
あー？
とりあえず さっさと領主とかいうのの居所を吐け
面倒くせぇから。
短気で照れ屋さんなんだー かわいぃー
黒ぷん短気すぎだよぉ
面白い童達だ
ほめられちゃったー
てへ♥
ガキって言われたんだよ!


この城の中に捜し物があるかもしれないんです
領主が何処にいるか教えて頂けませんか
……良い目をしている
しかし
その問いに答えることはできんな

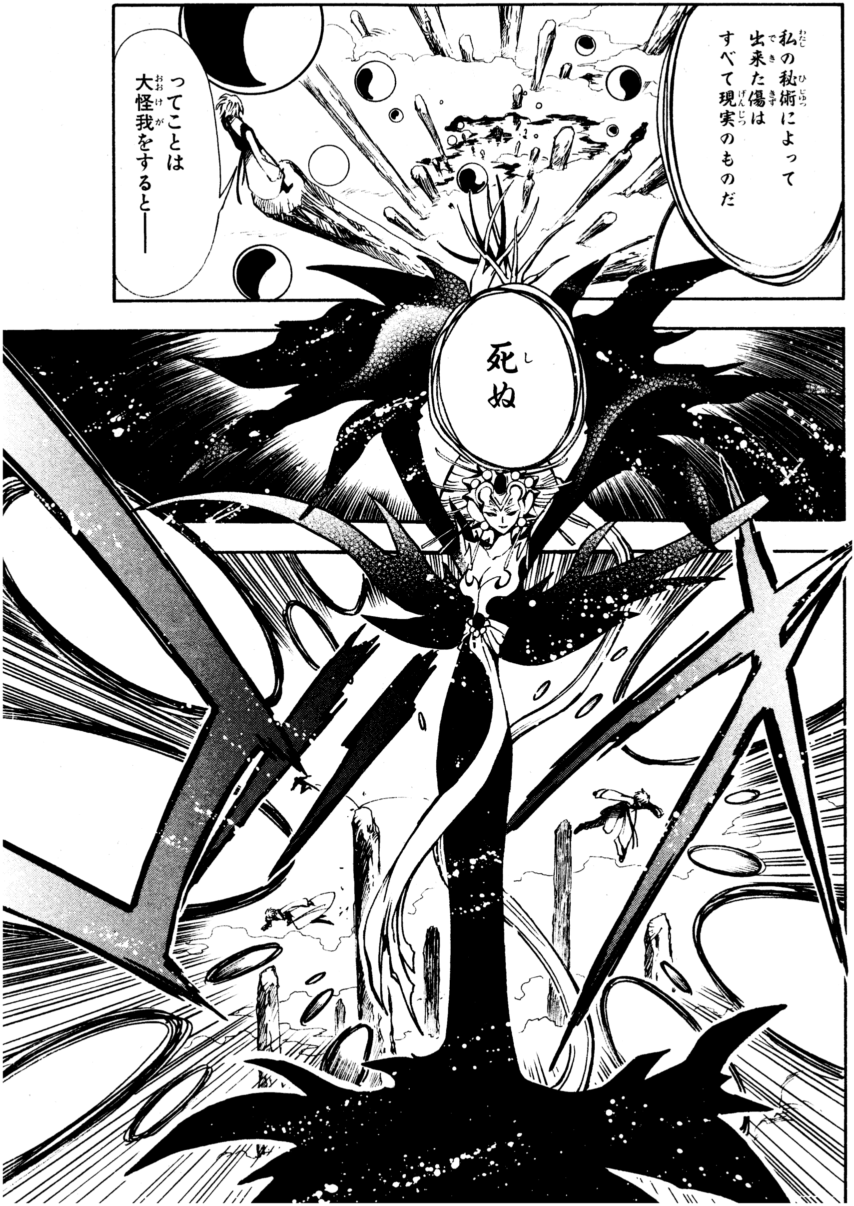

それに
ここを通すわけにもいかぬ
えっと それは――
と？
オレ達を通さないためには荒っぽいコトもしちゃおっかな――って感じですかねぇ
その通り





・・・・幻か
いいや
秘術だ
幻は惑わせるだけだが
私の秘術は・・・・


ただ美しいだけではないぞ
水!?
……溶けた



私の秘術によって
出来た傷は
すべて現実のものだ
ってことは
大怪我をすると――
死ぬ




く……っ!
足が!!
この池も
この珠と同じもので
出来ている
そして
この中の目に見えるもの
すべてが本物とは限らない
池に落ちたら
溶けちまうって
ことかよ!



黒みん これ 壊して
ああ!? なんでだ!?
素手じゃ いつまでも 避けるしか 出来ない でしょ?
自分で ヤレ!!
これで 触らずに 珠を壊せるよ


「ひゅー」黒さま すてきー♡
だから 口で言うくらいなら やめろ!!


さて
ここでずっと
玉遊びしてても
仕方ないよねー
小狼君──
モコナと一緒に
先に進んで──
まだ決着は
付いていません
うん
でも
人数いっぱいで
かかっても
あんまり効果
なさそうだし──
それに
足が動くうちに
先に進むべき
でしょう
小狼君には
やるべきことがあるんだから


大丈夫
ここは黒ぴーがなんとかするから
ぽん
また 俺かよ!!
……有り難うございます
あの上の方が魔力が薄い
小狼君なら出られるよね――


すごく高い――
小狼 届く?
ぷるー
ひょこン
おめっ! そんなトコに隠れてやがったのか!
それも大丈夫だよ――
あのね
何の相談かは知らないが
私をあまり退屈させてくれるな
童達
すみませーん すぐ終わりますから――
ぐいぐい
なんで 俺が……!
行きます
タッ




「ひゅ──」いい──カッコ二人(ふたり)とも


だからやめろ
一人逃がしてしまったのだな
仕方ない


残った童に少々灸をすえるとするか
なかなかマジなピンチだねぇ
……ふん



小狼(シャオラン) 足痛(あしいた)い？
平気(へいき)だ
だったら
二度(にど)と立(た)ち上(あ)がれないようにしてやる




Chapitre.20 終局の戦闘

RESERVoir CHRoNiCLE


ムギッ
今度はこの手で
葬ってくれる!!


あの人から不思議な感じがすごく強くする！
そうだ！
この体には ここ高麗国蓮姫の領主である親父の秘術が施されている！
秘術か
……モコナ 離れててくれるか？
小狼……
生意気な小僧め!!


パラ パラ


先程の童と同じ方法では逃げだせんぞ
この水やっぱ痛いねぇ
当たったら服も体も溶けちまうみてぇだからな


ブンッ
パアンッ
!!


バシャッ
黒む——ひどい——
ジュウウウウウウ
ケホ ケホ
ああしなきゃ
おまえ 今頃
溶けてるぞ
そうなんだけど—
もっと優しく移動させて
欲しかったよう——
なかなかやる
童共だ
ボコ
これは
ボコ


久しぶりに
退屈せずに済みそうだ


ガッ
…っ!


!!
小狼(シャオラン)──!!


ドン
なんだ!!
お前(まえ)の力(ちから)はこの程度(ていど)か!?
やっぱり親父(アボジ)の秘術(ひじゅつ)は無敵(むてき)だ!!


あ――
あんなに速く動く上に
変形されたんじゃたまんないなぁ
けっ
ぶよぶよ膨らんだり縮んだりしやがって
あはは
ここまで耐えた人間は童共と過去戦ったことのあるこの蓮姫の女秘術師だけだ
それって春香ちゃんのお母さんかな?
そういう名前の娘がおると言っていたな


この国に真に必要なのは
あの馬鹿な現領主達ではなく
童達やあの女秘術師だろうが
今 私はここから出られぬ身
理不尽にも私を意のままに操ろうとする者の身の程を弁えぬ令を聞かねばならん


名残惜しいが 童達
そろそろ お別れだ
ドドドドド


わー
これ 最大のピンチとか言うやつかなぁ
まあ
このまま あれ食らったら死ぬだろうな
えーっと それは困るかもー
オレ とりあえず
死ねないもん


…死にたくねぇのに この事態になっても 魔法とやらは 使わねぇか
うん
ごめんねぇ
…俺にゃあ 関係ねぇがな
黒みーは？
俺も こんな所では死なねぇ
帰らなきゃならねぇからな 日本国に


ザザザザザ
白まんじゅうはあの姫の羽根が見つかるまでは移動しねぇだろ
だったらさっさと済ませて次の世界へ行く
オレもあんまり一箇所にはいたくないからねぇ
なんでだ?
…元にいた国の水底で眠っている人がもし目覚めたら
追いつかれるかもしれないから


オレは逃げなきゃならないんだよ
色んな世界を
……
最後の話は終わったか?
ドドドドドドド
さーて
どうしようかー
絶体絶命ってかんじだよぉ
あははー
……おい
ん?


では……さらばだ


死に急ぐ気か
童よ


ヘッ
何(なに)!?




小狼!
小狼!!
なんだこいつは!? おまえが秘術で出したものか!
じたばた
きゃー!
噂では暗行御吏は秘術の使い手でもあるらしい
きゃ
きゃ
まさか おまえ 本当に暗行御吏なのか!?


なら尚更ここで始末しないとな！
……やめろ


ギュ
この足 あの秘妖に やられたんだろう!
ギリギリ
どうだ! 痛いか!
苦しいか!
お前 蹴り技を使うらしいな! 傷を負った足を庇って戦って 俺様に勝てるはずがないだろう!
……庇ったりしない


何だと!?
どこを怪我していようが関係ない
やると決めたことはやる




それだけだ


……なかなかの
策士だな
俺ぁ 雨が
嫌ぇなんだよ
だから
戦え


さっさと とめろ

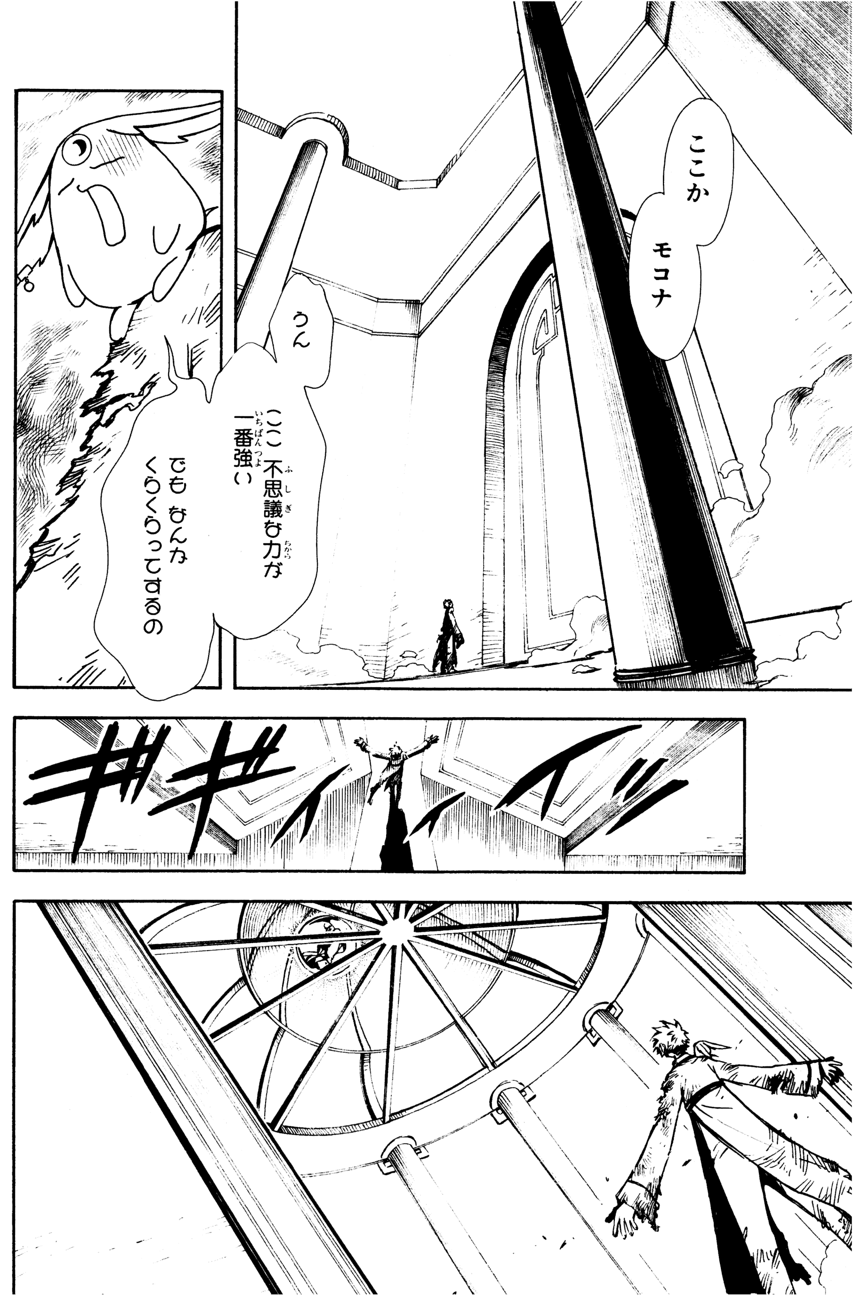


くっ!!
まさか あの秘妖が敗れるとは!!
息子は!
あちらはもう片づけただろうな!


おのれ―――!
生きては帰さんぞ―――!!


また妙なこと しやがったら……
てめっ！ 次は 何の術かけやがった！
今のは礼だ
私は あの石に込められた秘術で 領主に囚われていたのだ


あーなるほど それを黒ぽんが壊したんですねぇ
これで私は自由だ
あの馬鹿な領主親子より余程気骨がある童達の行く道を塞ぐ気もない
知りたいのは領主の居場所だったな
この城の最上階に奴はおる
一番小さな童は先に辿り着いたようだな
…また卑怯な手を使おうとしているな
あの領主は


ここか
モコナ
うん
ここ 不思議な力が 一番強い
でも なんか くらくらってするの
ギギィィイッ



サクラ！
春香(チュニャン)!!



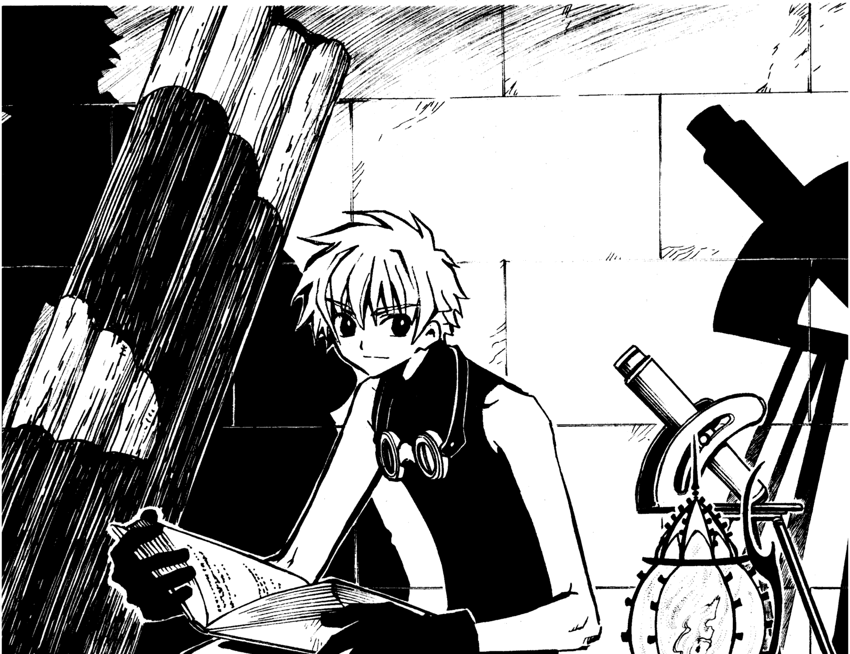
サクラの羽根だ!!
わしの秘術を破るとは
やはりおまえ達暗行御吏か!
……降ろせ
政府にわしのことが伝わったのか
いや
そうだとしてもこれがあれば暗行御吏を倒すことも可能・・・・


二人(ふたり)を降(お)ろせ


チカッ
ズ
ッ
小狼（シャオラン）!!
わ わしに指一本（ゆびいっぽん）でも触（ふ）れてみろ!
あの二人（ふたり）の命（いのち）はないぞ!!


ジリ
ユラァ
ザ
ザザ
ザザ
ザ


この町の者達だ！
わしの秘術で思うままに動く！
この者達を倒せるか！小僧!!


Chapitre.21 最愛の鏡


おまえが町の者達を攻撃したら
その痛みを何倍にもして小娘達に味わわせてやるぞ!!




ドッ
反撃してみろ！小僧!!
ヨロ

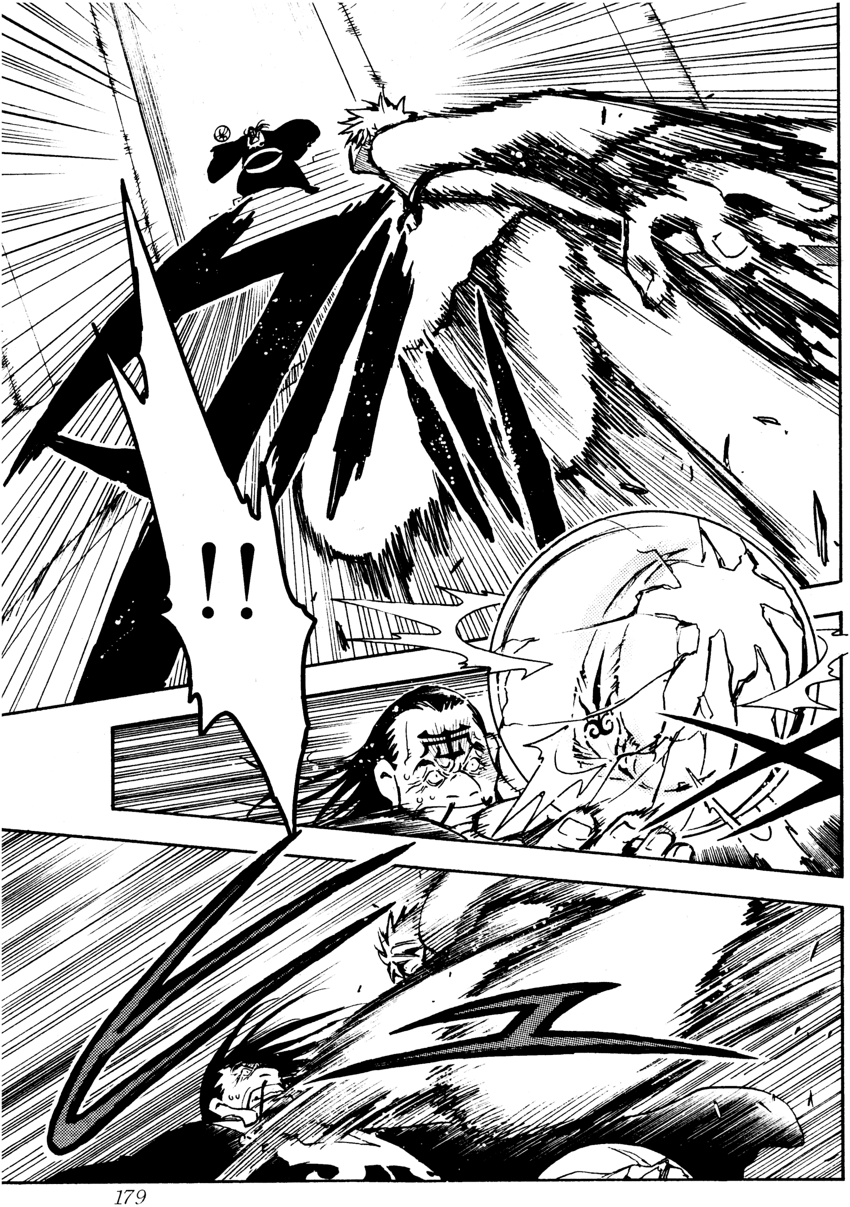

どうした！もう終わりか!!
小狼！


小狼ーー!!
やはり この羽根が ある限り
わしは無敵だ!!


助けて！
助けて！
小狼!!!



……あれも
秘術か
なんだと!?
捕らえられている二人は
……ニセモノなんだな
な……
何を言っている!
あれは確かに……!
姫は……
おれを『小狼』とは
もう呼ばない




あ
あそびはこれまでだ！
さあおまえ達！
さっさとこの小僧を始末してしまえ!!


みんな!
目を覚ませ!!



ザァァァァァ
はっ
なんだ？
どうして
こんな所にいるんだ
ザワ
ザワ
この鏡は
人にかけられた
術を解く
母さんの
秘術道具だ
春香!!
サクラも!!


私の秘術を操る力はまだ弱いけど
でも!
この鏡にかけてもうお前なんかに町の人達を自由にはさせない!
くそお!!


あれー？
なんだか人いっぱい？
二人とも遅いー!!
うるせぇ
こっちも色々あったんだよー
ごめんねぇ
……羽根を返せ


それは
サクラ姫の記憶だ
……返せ
小狼君……
ま……
待て！
フッ
フッ


これを使えば春香の母親を生き返らせられるかもしれん！
わ
わしを傷つけたり殺したりすればそれも出来なくなるぞ！
この強大な力を使えば
きっと母親は……！


おまえが殺したんだろ!この町を守ろうとした母さんを!!
それに!母さん言ってた!
どんな力を使っても
失った命は戻らないって!!
どんなに私が会いたくてももう母さんには会えないんだ!!


それなのに
そんなたわごと!
・・・・春香
仇を討ちたいか


それで　気が済むならいい
けれど
春香が手をかける価値のある男か？
こんな奴
…殴る手が勿体ない！


わ
わしに触るな！
く……
来るなー！
そこまでだ

To Be Continued

掲載／週刊少年マガジン2003年第40号から第47号

あなたは、この本を読んで、どのような感想をおもちになりましたか。
　このほかに、「講談社コミックス」の中で、どんな本を読まれましたか。
　このつぎには、どんな作家の、どんなまんがを読みたいとお考えですか。
　コミックス編集の参考にさせていただきたいと思います。「読後の感想」と合わせて、左記のところあてにお知らせください。

東京都文京区音羽二丁目十二番二十一号
（郵便番号一一二―八〇〇一）
「講談社コミックス」編集部

N.D.C. 726　191p　18cm

講談社コミックス　三三二二巻

ツバサ ③

2003年12月17日　第1刷発行
2005年3月8日　第7刷発行
定価はカバーに表示してあります。

著者　CLAMP
発行者　五十嵐隆夫
発行所　株式会社　講談社
東京都文京区音羽二―十二―二一
（郵便番号一一二―八〇〇一）
編集部（03）五三九五―三四五九
販売部（03）五三九五―三六〇八
印刷所　図書印刷株式会社
製本所　図書印刷株式会社

落丁本・乱丁本は購入書店名を明記のうえ、小社雑誌業務部宛にお送りください。送料小社負担にてお取り替えします。電話（03）五三九五―三六〇三
なお、この本についてのお問い合わせは、週刊少年マガジン編集部宛にお願いいたします。

ISBN4-06-363322-5

Printed in Japan

次なる世界は〝秘術の国〟!!

阪神共和国での巧断を駆使したバトルの末，ついにさくらの羽根を取り戻した小狼。しかし筆悟や正義との別れを惜しむ間もなく小狼達は再び旅立つ！そして辿り着いたのは高麗国。領主が圧政を施く〝秘術の国〟だった！

無敵の強さで支配を続ける領主を倒し，さくらの羽根を取り戻すため——小狼達は「蓮姫の城」へと潜入する!!





NHK教育テレビにて TVアニメ化決定!!

4月9日(土)18:30より放送開始(予定)!

原作 CLAMP

CLAMP

講談社

アニメ「ツバサ・クロニクル」は
絶好調制作進行中!!

キャスト決定! 小狼:入野自由 サクラ:牧野由依
黒鋼:稲田 徹 ファイ:浪川大輔 モコナ:菊地美香